

◇ ◇ 第二種研究会発表募集案内 ◇ ◇

●第 30 回量子情報技術研究会 (QIT30)

委員長 枝松圭一 (東北大)

研究会の内容

情報科学と量子力学を融合させた新しい分野、量子情報科学に関する研究会です。情報を担う物理系の量子力学的側面を積極的に生かした新しい情報処理原理の研究とそこから開かれる新しい学問体系の構築及び新しい情報技術パラダイムの創生を目指して、情報科学、物理学、光エレクトロニクスを含む理学、工学、数理学に携わる研究者間に自由な討論の場を提供し、この研究分野の発展を図ることを目的としています。

第 30 回研究会を下記のように開催致します。現在この分野で活躍する研究者は勿論、自分の研究資産が何らかの形で使えそうだと予感している研究者・技術者など、広く関連する分野の研究者・技術者からの発表を募集致します。聴講のみの参加も歓迎致しますので、奮ってお申し込み下さい。

期日 平成 26 年 5 月 12 日 (月), 13 日 (火)

会場 名古屋大学豊田講堂シンポジオン (名古屋市千種区不老町)

発表募集分野 (申し込み状況によっては査読の可能性あり)

量子情報, 量子計算, 量子暗号など広く量子情報技術に関わる理論的研究, 実験的研究, 計算機科学的研究, 数学的研究, 及び, その他関連分野

定員 200 名

参加費 事前振込み 一般 5,000 円, 学生 1,000 円

当日会場払い 一般 6,000 円, 学生 2,000 円)

(懇親会は別途 一般 4,500 円, 学生 3,000 円)

研究会参加申込要領

参加申込は下記 Web にて受付けます:

<http://staff.aist.go.jp/s-kawabata/qit/qit30/>

講演 (口頭, ポスター) の申込, 予稿集原稿 PDF の提出は, 電子情報通信学会の Web システムを使用する予定.

口頭講演申込締切 3 月 28 日 (金)

ポスター講演申込締切 4 月 11 日 (金)

予稿原稿提出締切 4 月 11 日 (金)

参加申込締切 4 月 18 日 (金)

【問合先】

西村治道 (名大情報科学研究科)・鶴丸豊広 (三菱電機情報技術総研)・林 正人 (名大多元数理科学研究科)

E-mail: [qit30@math.cm.is.nagoya-u.ac.jp](mailto:qit30@math.cm.is.nagoya-u.ac.jp)

主催 量子情報技術時限研究専門委員会

共催 応用物理学会; 量子エレクトロニクス研究会, 名古屋大学多元数理科学研究科, 名古屋大学情報科学研究科

## ●第4回ネットワークソフトウェア研究会

委員長 新津善弘（芝浦工大）

研究会の内容

ネットワークシステム研専配下の第二種研究会であり、ネットワークの変革がソフトウェア技術にもたらすインパクトや、ソフトウェアの技術革新がネットワークサービスに及ぼす変革に対して問題意識を持ち、ネットワークソフトウェア技術に対する要求条件や実現技術について研究・実用化の両面に関して議論をします。

期日 平成26年6月5日（木）、6日（金）

会場 とかちプラザ（帯広市）

テーマ：ソフトウェア開発管理技術＋一般

### 概要

サーバやその上で動作するアプリケーションの仮想化技術が進展することにより、様々なサービスをクラウド環境で使用できるようになってきました。更に昨今ではネットワーク機能までも仮想化しようとする動き（例えばNFV：Network Functions Virtualization）が出てきています。このような環境では、これまでの単一装置のソフトウェア技術とは異なる新しいネットワークソフトウェア技術が必要となってきています。

一方で、ソフトウェアの多くの開発現場では、めまぐるしい変化に対応するために、開発サイクルの短期化と、同時に開発コストの削減、品質の維持が要求されています。これらの要求に応えるためには、ソフトウェアの開発手法の技術革新とともに、効率的に開発を進めていく開発管理技術も重要となってきます。

本研究会では、このような状況の中、ネットワークソフトウェアに関し、現状の開発・管理の課題を踏まえ上で、新たな革新的なソフトウェア開発手法及び開発管理技術について議論致します。

例えば、

- ・変革を続けるネットワークを支える新規ネットワークソフトウェア技術やアーキテクチャの提案
- ・ネットワークソフトウェア開発手法、開発技術の現状分析と革新に関する提案
- ・開発効率を向上させるためのソフトウェア開発管理技術に関する提案
- ・その他一般。

本研究会の特徴

参加者の産学のバランスがよく、更に時間にとらわれず活発に議論する風土がありますので、発表者は様々な角度から多数のフィードバックを得ることができます。また、他研究会には例を見ない独特の発表形式を採用しておりますので、発表者は目的に応じた議論を自由に展開することができます。これにより、検討結果の発表だけでなく検討経過や問題提起等についても発表・議論して頂けます。

また、本研究会では、議論を促進することを目的としてディスカッション賞を設けています。有意義なディスカッションを頂きました参加者が受賞対象となります。是非活発な議論をお願い致します。

**【発表形式】** 下記2種類の発表形式からお選び下さい。

- ・一般講演：掘り下げた議論を御希望の方向け

1件当たり標準で50分。発表者からのプレゼンテーションは20～25分とし、残りの時間を質疑応答に割り当てることで、深く掘り下げた議論や多様な視点からの広範なフィードバック獲得が可能となります。

- ・ポジションペーパー：構想段階等にて意見を収集したい方向け

1件当たり約5～10分程度で、一般講演するほどの内容ではないが、是非意見交換をしたい内容などについて、発表者の目的に応じた自由な形式で議論して頂けます。

各種締切

- ・一般講演申込：5月7日（水）
- ・一般講演原稿提出：5月14日（水）
- ・ポジションペーパー申込：5月14日（水）
- ・研究会参加申込：5月14日（水）
- ・参加費振込み：5月23日（金）

**【一般講演の申込と原稿提出】**

- ・申込方法

講演者氏名、共著者名、所属、講演題目、概要（400字程度）、連絡先（住所、E-mailアドレス、電話番号）、講演者の方の参加費種別（一般／学生）を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。講演者の方は参加申込みもされたものとみなしますので、下記参加申込みに関する注意事項も合わせて御確認下さい。

- ・原稿提出方法

PDFファイルにて、電子メールでお送り下さい。原稿の体裁は規定していませんが、PowerPointなどの発表スライドを原稿として提出される場合は、1ページ当り1スライドとなるようPDF化して下さい。発表スライドで頂きまし

た原稿は、投稿状況に応じて1ページ当り2スライドまたは4スライドの形式で予稿集へ掲載させていただきますので、あらかじめ御了承下さい。

#### 【ポジションペーパーの申込と原稿提出】

申込方法は、上記の一般講演と同様です。原稿は、PDFファイル（A4判1枚・様式自由）にて、電子メールでお送り下さい。

※ポジションペーパーの申込・原稿提出は上記期日を過ぎてからも受け付けます。ただし期日以降の申込・原稿提出を御希望の方は、事前に電子メール等にてお問合せ下さい。また期日以降の申込では予稿集に氏名・所属が掲載されませんので御注意下さい。

#### 【参加申込】

氏名、所属、連絡先（住所、E-mailアドレス、電話番号）、参加費種別（一般／学生）を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。研究会に参加した方々の議論・意見交換活性化のため、当日紙配布する参加者名簿に氏名・所属・E-mailアドレスを掲載予定ですが、問題等ございましたら御連絡下さい。

#### 【参加費（予定）と参加費支払方法】

一般 7,000円 学生 3,000円

参加費を期日までに下記口座へお振り込み下さい。なお、振込後の参加費の返還には応じかねますので、御了承下さい。請求書が必要な場合は、参加申込の際にその旨をお知らせ下さい。

〈振込先口座〉

銀行名：みずほ銀行 支店名：三鷹支店

口座名：ネットワークソフトウェア研究会

口座番号：普通 4298770

#### 【予稿集の事前配布】

講演内容の理解促進及び質疑応答の更なる充実を目的に、希望する参加者の方へ予稿集を事前配布（郵送）します。事前配布を希望される方は、参加申込の際にその旨をお知らせ下さい。なお、期日までに参加費を振り込むことが事前配布の条件となりますので、御了承下さい。

#### 【講演・参加申込先・原稿提出先】

北野雄大（NTT）

〒180-8585 武蔵野市緑町 3-9-11

TEL〔0422〕59-3890

E-mail：ns-nws-kanji@mail.ieice.org

#### 【研究会全般に関する問合先】

奥谷武則（NTT）

TEL〔0422〕59-3805

主催 ネットワークシステム研究専門委員会ネットワークソフトウェア研究会運営委員会

◎<http://www.ieice.org/~nws/>

## ●第 54 回機能集積情報システム研究会

委員長 北神正人（千葉大）

本研究会は、ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会の下での第二種研究会として開催します。本研究会は、平成3年に設置された「ウェーハスケール集積システム時限研究専門委員会」以降、複数の時限研究専門委員会の下での研究会を経て現在の研究会に引き継がれました。

近年のLSI製造技術の進歩により、大規模かつ斬新な情報処理機能をシリコン・ウェーハあるいは大規模ICチップ上に集積・実装する情報システムFIIS（Functional Integrated Information System）の構築技術が注目されています。そこで、本研究会では次に示す幅広い研究分野を対象としています。

まず、ICチップ製造段階では、チップの歩留まり解析、歩留まり向上設計法、レイアウト解析、フォールト・トレラント手法などがあげられます。また、ICチップ上の情報システム構築（SOC: System On Chip）技術としては、IC内部の欠陥検出法（テスト手法やBIST: Build In Self Test）や誤り訂正・回復技術、故障を許容する高並列プロセッサや相互結合網の再構成方式、耐故障再構成可能情報システムの構築技術、動的再構成可能情報システムの構築技術、低消費電力技術などがあげられます。更には、故障モデルの解析、信頼度解析、性能評価などの理論的解析手法もあげられます。

本機能集積情報システム（FIIS）研究会は、上述したような技術を、応用分野の枠を超えた高性能・高信頼性・低消費電力のマイクロ情報システム実現のための強固な枠組みであると捉えています。本研究会では上記内容を中心としていますが、それらにとらわれず、各種応用研究を含めた広い研究分野からの研究発表を歓迎致します。

今回の第54回機能集積情報システム研究会を下記要領で一般発表を募集致しますので、多数の申し込みをお待ちしております。

期日 平成26年6月6日（金）

会場 秋田市にぎわい交流館AU（秋田市中通1-4-1）

一般申込締切 4月11日（金）

発表を希望される方は、論文題目、著者、所属、連絡先を下記幹事までお知らせ下さい。

### 【申込・問合せ】

難波一輝（千葉大大学院融合科学研究科）

E-mail: namba@faculty.chiba-u.jp

主催 ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会